（様式1）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 023	**提案機関名**	自然環境保全センター
要望問題名	淡水魚類のモニタリングと保全方策の調査研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 2004～2006 年に実施された丹沢大山総合調査において、ヤマメやカジカ等の淡水魚類について、在来系統群の生息可能性が指摘されています。しかし、詳細な生息状況調査や保全方策等の検討は行われていません。 そこで、それら淡水魚類の生息状況を把握し、可能なものについては保護増殖や保全策を検討する調査研究を要望します。		
解決希望年限	①1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内	
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター	
備　考		

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	**担当部所**	内水面試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 （①、②、④の場合） 地域課題研究費・基礎試験研究費（河川環境等復元研究費）			
対応の内容等 これまで、タナゴ類、ホトケドジョウ、メダカなどの絶滅危惧種の保護増殖に関しては、分布生態調査、種苗生産技術の開発研究、ビオトープや自然水域における復元研究などを実施し、一定の成果をあげてきたところです。丹沢の在来ヤマメやカジカなどの渓流魚の保全については、これまでNPOとの共同調査等を実施してまいりましたが、ご指摘のとおり不十分な状況です。そこで、来年度より、これらの渓流魚の調査や増殖研究の総合的な実施について、河川環境復元研究の枠内で検討します。			
解決予定年限	①1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内		
備　考			